
わりといいかんじの球体

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わりといいかんじの球体

【Nコード】

N6756D

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

0か1かだけの世界はとても素敵だけれど、残念ながらこの世界は0と1以外のもので溢れ返ってる。僕もまた0にも1にもなれなかったうちの一人だ。世界は周る。不思議な球体。結局のところ僕はその曖昧で不確定なたちこそが好きなのかもしれない。

完璧な球体がどうのこうの。

そんなふうことをどっかの偉い学者が言ってたよな気がする。

まあ、それはそれとして。

球体って、なんか、なんだか幸せな感じする。

幸せとゆうか？

幸せそう？

うん、なんか、まあ、そんな感じ。

だから、こう置き換えてみよう。

XやらYにとりあえず間に合わせの数を入れてみる、みたいな。

完璧なしあわせ。

うん、なんかそれっぽい。

”それっぽいかどうか”って結構大事だ。

少なくとも僕にとっては。

今のうちに言っておくけど、僕は文章を書くときに着地点についてはあまり深く考えない。

なんとなく、勢いで。

たどり着いたところが、行くべき場所だった、的な。

だから”それっぽいかどうか”は僕にとってとても大事。

……
話を戻そう。

完璧なしあわせ。

なんだか哲学的な胡散臭さを孕んだ言葉だ。

完璧なしあわせなんてあるわけないよー。

そんなの当たり前！。

多分こう感じる人ってわりと、多いんじゃないかって思う。

うん、もったいぶった言い方したけど、ぼくもそう思う。

完璧なしあわせなんて、多分ない。

ここで問題なのは、完璧なしあわせがあるかないかじゃなくて、ないと分かっているわりにはついそれを求めてしまう傾向が人にはどうやらあるようだっていうこと。

完璧な人たち。

綻びのない図形。

そんなしあわせ。

ないよ、そんなの、分かっている、わかりきっている。

はず。

ではあるけれど。

日々ぼくたちが口にする不満や愚痴の多くはそんな完璧な図形との不一致から生まれる気がする。

もちろん、完璧な図形を再現することは無理でも、それへの試みは大事だ。

より良く、より良くしていこう。

そういう考え。

うん、とても大事。

ただ。

その試みをどれだけ重ねたところで、100%は永遠に訪れない。

だからぼくたちは妥協点を求める。

うん、このくらいならいいか。

そんな折り合い地点。

つまりは完璧との相違を受け入れるっていうこと。

ここ、理想とはちょっと違うけど、まあ、こんなもんでよくね？

追求と、妥協。

そのバランス加減がほんのすこっただけでもずれた感じになると、僕達の中になんだかアレな感情が生まれる。

そのバランスをとるのって、なんだか超むつかしい。

だから実際のところ不満や愚痴を目にする機会がとて多くなる。みんな、完璧な図形が存在しないなんて事はわかってるのに、だから。

頭の中にある図形。

かんぜんなるしあわせのかたち。

ぼくはあえて、それを少し歪めてみようと思う。

描く図形そのものがゆがんでれば、
きっと妥協とはちょっと違うやり方で目の前にあるものを受け入れられるから。

それは。

なんかちょっと不恰好な感じしちゃうのは否めないけど、
もはや球体と呼べるのかどうかも危ういふいんき（なぜか変換できない）だけど、

でもまあわりといい感じの球体

そんな球体にぼくはなりたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6756d/>

わりといいかんじの球体

2010年10月12日20時20分発行